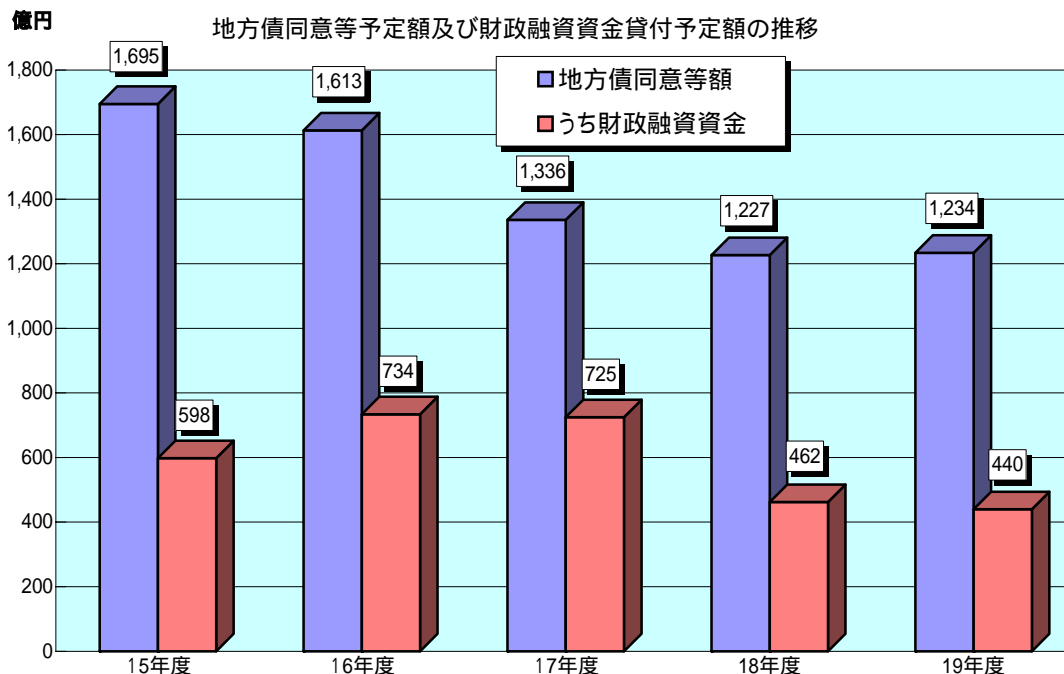


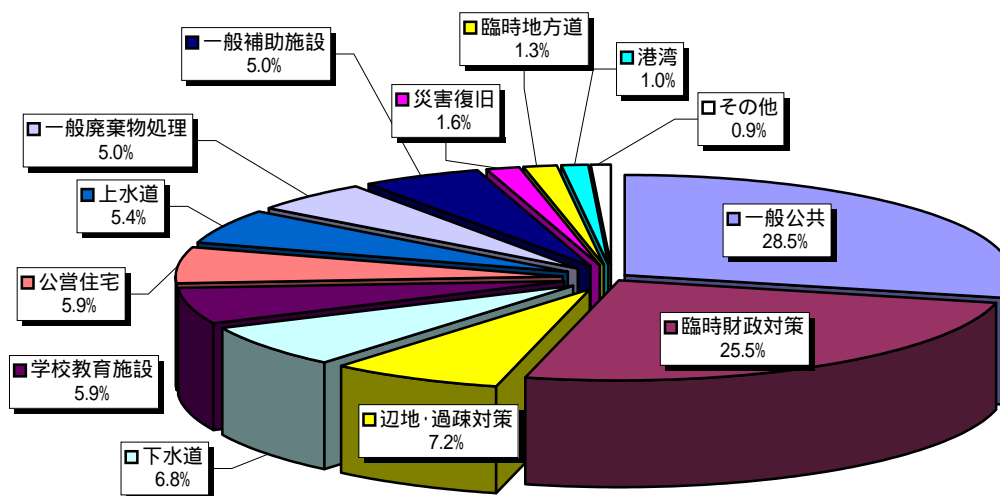
## ■ 財政融資資金の貸付予定額等の状況(平成19年度)

平成19年度における県内地方公共団体への地方債の同意等予定額は、1,234億円となっており、平成18年度と比較して7億円(0.6%)の微増となっているが、財政融資資金の貸付予定額については、440億円となっており、平成18年度と比較して22億円( 4.8%)の減少となっている。



事業別の構成割合では、一般公共事業が28.5%、臨時財政対策債が25.5%となっており、以下辺地・過疎事業、下水道事業、学校教育施設事業、公営住宅建設事業、上水道事業、一般廃棄物処理事業の順となっている。

財政融資資金貸付予定額の事業別内訳  
(19年度資金440億円)



当局が県内地方公共団体に貸付した財政融資資金の残高合計は年々増加していたが、平

当局が県内地方公共団体に貸付した財政融資資金の残高合計は年々増加していたが、平成20年3月末は7,010億円と、前年度に比べ179億円( 2.5%)の減少となっている。減少の主な要因としては、地方公共団体の厳しい財政事情等を踏まえ、平成20年3月に補償金を免除した繰上償還を実施したことが挙げられる。

